

令和6年度第4回教育委員会(7月29日開催)
 ①令和6年度安平町育英基金奨学生採用について
 ②令和5年度教育委員会事務局事業点検・評価報告について
 ③安平町教育まちづくり委員会要綱の制定について
 ④安平町給食センター運営委員会委員の委嘱(任期満了)について
 ※第5回教育委員会(8月28日開催)については次号でお知らせします。
 教育委員会はどなたでも傍聴できますので、教育委員会事務局までお気軽にお問い合わせください。(☎2970336)

～郷土史つづり～

文責
郷土史マスター
川内 つづり



その88「タンニン工場(早来)についての深掘り1 桜組」

2012年から始まった郷土史つづりの中で「タンニン工場」を取り上げたのは2回(その1、その62)でした。しかし、最近になって調査のとき関連企業から送られて来た資料などを読み返すと、町の歴史の一つに止まらず、日本の歴史の一部であることが分かり、もっとみなさんにご紹介したいと思いました。関連企業は、当時日本最大級の「タンニン工場」を早来に開設した桜組(現ニッピ)です。他にご協力頂いたのは、東京都立皮革技術センター、姫路の川村通商(皮革、薬品事業)、新田の森記念館(幕別町)です。特に、皮革業界で50年余りのキャリアを持つ川村通商の担当者Kさんは、出会った15年前から現在に至るまで、その知識を惜しみなく教えて下さいます。次回以降に、少しずつご紹介したいと思います。

では、まず「桜組」についてお話ししましょう。創設者西村勝三(1836-1907)は、明治3年、築地に伊勢勝造靴場と製革工場を開き、日本で初めて西洋靴を作った人です。通称はイセカツ。明治10年経営に苦しみ、佐倉藩士だった西村は藩主の援助を受け、依田西村組と改称し、その後、渋沢栄一の出資によって明治17年桜組と改称しました。渋沢栄一と西村は共に耐火煉瓦を製造する(東京駅の赤煉瓦も製造)親しい関係でした。「桜組」は渋沢栄一が関わった500社の一つだったのです。明治20年には、日本で初めて国産革をドイツに輸出、国産靴をロシアへ輸出に成功しました。明治29年アメリカから製靴機を購入して日産500足の増産し、その後西村は、日露戦争(明治38～39)に備え、機械製靴の一大工場の設立を考え、明治35年、桜組、東京製皮、福島合名、大倉組の4社の製靴部門が合併し、日本製靴株式会社(現リーガル)が設立されました。ドイツから機械を購入して軍靴の製造を開始します。桜組は靴の原材料をつくる製革部門の大工場を千住に建て、本社も移転しました。

さて、必要なのは大量のタンニンエキスです。…つづく

安平町図書室 新着図書のご案内

□開室日 追分 火～日曜日 9時～17時
 まなびお 月～日曜日 9時～21時
 □問合せ まなびお ☎297775、追分 ☎25265

新しい本がたくさん入りました！まなびお・追分どちらの図書室の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしております。

まなびお図書室

- 〈一般書〉台所薬局 スパイス&ハーブで、心と体をセルフケア(ブラフ弥生)／地球の冷やし方(藤村 靖之)／谷から来た女(桜木 紫乃)／惣十郎浮世始末(木内 昇)／迷子手帳(穂村 弘)
- 〈児童書〉野球しようぜ！大谷翔平ものがたり(とりごえ こうじ)／ちよっぴりながもちするそうです(ヨシタケ シンスケ)／星をつるよる(キムサンゲン)／君の声が聴きたい(NHK「君の声が聴きたい」プロジェクト)／さいごのゆうれい(斉藤 倫)

追分公民館

- 〈一般書〉北海道 大人の日帰りスポット2024-25(花園 俊吾)／国民の違和感(9割正しい)(堤 未果)／バッタを倒すぜアフリカで(前野ウルド浩太郎)／最後の甲賀忍者(土橋 章宏)／愚か者の石(河崎 秋子)
- 〈児童書〉人間は料理をする生きものだ(森枝 卓士)／釣って食べて調べる深海魚(平坂 實)／これが鳥獣戯画でござる ニッポンの笑いの原点(結城 昌子)／ぼくのねこポー(岩瀬 成子)／はみがきさん(せな けいこ)

今月の展示テーマ

『防災』

2018年9月6日の胆振東部地震から6年。9月1日は防災の日、9月は防災月間です。「関東大震災」(1923年9月1日)、「伊勢湾台風」(1959年9月21日)、「二百十日」(立春から210日目。9月1日ごろ。台風の多い日、風が強い日と言われている)とのことから、9月は防災月間とされたそうです。あの大地震の記憶を忘れず、備えておきましょう。

◆ 読み聞かせ 9月日程 ◆	日時	会場
読み聞かせ ありんこ会	9月14日(土)10時30分～	まなびお図書室(早来学園図書室)
ブックスタート読み聞かせボランティア赤ずきん	9月11日(水)11時～	おいわけ子ども園子育て支援センター